

サンプルー 実際にお届けする鑑定書です。匿名のサンプル命式（女性）に対して生成した、完全鑑定書（3,000円）の編集なし全文です。お客様の鑑定書はご自身の生年月日時から新たに作成され、内容はすべて異なります。

【四柱推命 完全鑑定書】—— 春の風に磨かれる、一振りの鋼

完全鑑定書（女性・大運は数え7歳スタート ※年齢は数え年） ・全8,636字

0. 総評 — ひと目でわかるまとめ

- 総評ひとこと: 春まだ浅い野に置かれた一振りの鋼——周りの草木(財)は勢いよく茂り、あなたはそれを一人で刈り取ろうとして疲れやすい。けれど足元の温かい土(未)と、日の下の炎(午)が、あなたを静かに支え続けている方です。 - 今年の鍵3つ 1.

2026年は日の支(午)が重なり、体力と気持ちの張りつめが同時に来ます。まず休養と睡眠を最優先に。2. 陽の火の年で「あなたを助ける気(用神=丁の火)」が動きます。資格・専門性を形にする、学び直しに適した年です。3. 月の支(卯)と午が「こすれ合う関係(破)」を起こします。職場の人間関係・契約書の細部で摩擦が出やすい年。急いで判を押さないこと。 - 心に留めたいこと: 今年は「自分の体を削って結果を出す」やり方が一番危ない年です。無理を通せば秋以降に必ず体で返ってきます。引き受ける量を一つ減らす。それが今年の最大の開運です。

1. 命式の構造と格局

▶ 格局: 正財格 | 特殊格: 該当なし（正格として鑑定） | 外格: なし

・日主（あなたの中心の気）: 陽の金——庚。鍛えられる前の鋼、原石の鉄です。

・月令: 卯(う)月。春の木がもっとも勢いづく時。あなたにとっては「財の側(財星)」がいちばん盛んな季節に生まれた形です。

判定固定ライン: 格局＝正財格 | 外格(従化)＝なし | 外格(雑格)＝なし → やさしく言えば「こつこつ蓄える財の気」が命式の主役、つまり信用と誠実さで積み上げていく型です。

成敗: この命式は敗中有成（一度崩れかけたものが、救いの手で立て直された形）と判定されます。財の気に対して年干の陽の火（重圧の気＝七殺）が現れ、財が重圧を育ててあなたを圧迫しかけましたが、隣の月干・陰の金がその火をぴたりと合わせて止めています。古典でいう「合殺存財」——強盗を身内が押さえて財産を守ってくれた形です。

これが何を意味するか。あなたは若い頃から「自分を潰しかねない重圧」に何度も近づきながら、その都度、思いがけない誰かの介入や、自分でも説明のつかない偶然に守られてきたはずです。ただし救われた形であって、最初から安泰な形ではありません。緊張感が常に背景にある命式です。

気の勢い: 木3・火2・土1・金2・水1。あなたを助ける側が3、あなたの気を減らす側が6。つまり穏やかめ（身弱）。財も仕事も豊かに見えるのに、それを扱う自分の体力が追いつかない——これがこの命式の核心的な課題です。

古典にいわく、卯月の陽の金は本来力を得にくい、時の支である未の土が日主を下から支え、時干の水は未に納まって強く漏らさない。ゆえに金と土の気が命の内外に配されれば、財が旺じて栄えるとあります。そして「日の支が午である場合、金と土が福となり、金土の運に至って栄達する」——まさにあなたの構造です。逆に水の気は大いに忌むとも明記されています。ここが本鑑定の最重要点です。

貴命判定: 派手な貴格ではありません。ただし「支えがあって崩れなかった」堅実な型で、長く続く仕事に向く命式です。

2. 季節の気と生まれ持った才能（物象・調候・神殺）

物象（この命式の姿）：春の野に置かれた鍛えられる前の鋼。周りには若木が競って伸びているが、鋼を鍛える炉の火はまだ表に出ていない——才は確かにあるのに、それを形にする炎が地中に隠れている姿です。

季節のバランス（調候）：卯月の陽の金に必要なものは、順に①丁（陰の火＝炉の火）／②甲（陽の木＝薪）／③庚（陽の金＝薪を割る斧）／④丙（陽の火＝日光）。古典に「二月の庚金は専ら丁火を用い、甲を借りて丁を引き、庚を借りて甲を劈く」とあります。鋼を刃物にするには、薪を割り、炉に火を入れる工程が要するという意味です。

ところがあなたの場合、この炉の火も薪も天干に出ておらず、すべて地支に隠れています（皆蔵）。これを「中格」といいます。——つまり才能も専門性も、生まれつき備わってはいるが、放っておいては表に出ない。運や環境が引き出してくれて初めて花が咲く型です。学生時代や若い頃、「自分は何か持っている気がするのに、それが何か分からない」という感覚を長く抱いてこられたのではないのでしょうか。それは気のせいではなく、命式の構造そのものです。

時のめぐりは合っているか: 部分的に合っています。完全ではありません。助けとなる炎は日の支に、薪は年の支にあり、確かに存在します。しかし表に出ていないため、若い頃の発揮は遅く、中年以降にじわじわと形になる型です。加えて古典が「水を大いに忌む」と明記している通り、水の気が強まる時期は判断が濁り、実りが漏れます。時干の陰の水（鋭い表現の気＝傷官）はあなたの発信力そのものですが、これが暴走すると自分の足場を削ります。

現場の見立てを一つ: 春に生まれた陽の金は、「間隔を空け、距離を取り、他と重ならない成長を求める」性質を持ちます。人と群れず、自分の領域を確保したがる。また陽の金は本来「他者との疎通」を重んじる気質で、陰の金のように内に籠るのではなく、外に向かって橋を架けようとする。あなたが人間関係で「近すぎるのは苦しいが、断絶も嫌だ」という微妙な距離感を大切にこられたのは、この構造から来ています。

主要な神殺（両面で読みます）

- ・時の支・未——天乙貴人（あなたを助けてくれる人の星）：命式のもっとも良い場所に、最上の吉星が座っています。しかも未はあなたを支える土。苦しい局面で必ず誰かが手を差し伸べる方です。特に年長者・上司筋・目上の女性からの引き立てが強い。ただし自分から助けを求める言葉を出さないと発動しにくいのが陽の金の癖です。

- ・時の支・未——攀鞍（安定して座に着く星）：華やかな出世ではなく、経験と実務の厚みで確かな地位に落ち着く星。中間管理・実務のまとめ役・後進への技術伝授に強い。晩年になるほど効いてきます。

- ・月の支・卯——桃花（人を惹きつける魅力の星）：財の気そのものが桃花です。魅力・美的センス・人前での存在感という吉の面が濃い。ただし月の支は職場・社会の場所であり、しかも日の支・午と「こすれ合う関係(破)」にあります。職場での好意・人間関係が仕事の摩擦に転じやすい面には注意が要ります。

・日の支・午——将星（指揮権の星）：自分の座に指揮の星があります。人に使われるより、任されて一つの領域を仕切るほうが力が出る方。半面、自分の判断を曲げにくく、上と衝突しやすい。ここは自覚して緩めるところです。

・年の支・寅——地殺（移動と再出発の星）：生まれ育った土地や環境から一度離れることで運が動く型。転居・転職・環境の切り替えが人生の節目になります。

注意すべき体の傾向: 古典の一節に「金の日主が火に多く遭えば、鼻づまり・咳・喘息など呼吸器を病む」とあります。あなたは火が強い構造で、日の支・年の支が火の組を作ります。呼吸器・気道・皮膚の乾燥に、生涯を通じて注意なさってください。火の年（後述）には特に。なお治療の判断は必ず医療の専門家にご相談ください。

2.5 お子さんの縁

・お子さんを表す気の状態: 女性のお子さんは「表現の側(食傷)」。天干に時干の陰の水が一位、地支の本気に一位（時の支の中に水気はなし、実質は天干のみ）。ただしこの水は未の土に納まって力が弱く、さらに現在の10年の流れで天干から真正面にぶつかられています。合わせて、命式全体が水を忌む構造です。

・お子さんの数: 天干一位／地支通根なし／衝で減じる一位分→実質一位。お一人のご縁が濃い形です。「お子さんは多くはないが、その一人が大きな光になる」と読みます。

・育ちの見立て: 表現の気は弱くとも、時の支に最上の吉星（天乙貴人）と安定の星（攀鞍）が同座しています。数は少なくとも、育ちは穏やかで、あなたの晩年を支えてくれるご縁です。ただし妊娠・出産に関わる時期は、時の支がぶつかる年（後述の年運）を避けて計画されると穏やか。医学的な判断は必ず専門医の領域であることを申し添えます。

3. 大運 — 人生の大きな流れ

（※すべて数え年）

7～16歳・庚寅: 天干は自分と同じ陽の金、地支の寅は命式の午と結んで火に変わる流れです。火はあなたを助ける気ですが、幼い身に強く当たる火でもある。環境の変化が多く、落ち着かない幼少期。ただし同じ気の支えがあり、根は折れずに済んでいます。この頃に土地や家庭環境の切り替えを経験しやすい配置です。

17～26歳・己丑: 土の10年。古典が「金と土が福となる」と明記した、まさにその運です。学業・資格・基礎固めに最も適した時期で、地味ながら実力の土台がここで作られました。派手さはなく、周囲より遅れている感覚を持ちやすいが、実際にはこの10年の蓄積が後半生を支えています。

27～36歳・戊子: 天干の陽の土は助けですが、地支の子は水の本場。古典が「水を大いに忌む」というその水が、10年間足元に居座りました。判断が濁り、努力が漏れ、実りが見えにくい10年だったはず。人間関係でも「なぜこうなるのか分からない」流れに巻き込まれやすかった。あなたの怠慢ではありません、季節が合っていなかっただけです。この時期の停滞を自分の能力不足と結論づけないでください。

37～46歳・丁亥（現在）: 天干に、待ち望んだ炉の火（丁＝あなたを助ける第一の気）がついに現れました。ここは大きい。地支の亥は本来水ですが、命式の卯・未と結んで木の組（財の側）に変わります。つまり「才能が表に出る火」と「仕事量・財が一気に増える木」が同時に来た10年。ただし——あなた

は身弱です。財が増えるほど、それを扱う体力が削られる。さらに天干の火が時干の水を真正面から打ちますから、発信・表現の面で言葉が抑えられたり、逆に出しすぎて摩擦を招いたりする。成果は出るが、消耗も同じだけ大きい10年と正直に申し上げます。財の格にとって公職・組織の重圧の気は忌の側ですから、肩書きより実務の中身を選ぶのが賢明です。

47～56歳・丙戌: 地支の戌が命式の寅・午と結び、火の組が完成します。あなたを助ける火が全面に出る、人生でもっとも力を得る10年。しかも古典が福とする土（戌）でもある。「金土の運に栄達する」というその条件に最も近い運です。専門性が社会的に認められ、指導的な立場に立つ時期。ただし火が過ぎれば金は疲れます。呼吸器と睡眠だけは手放さないこと。この10年に、自分の名前が残る仕事を一つ形にしてください。

57～66歳・乙酉: ここは人生の大きな分かれ目です。この10年は生まれ月の柱（辛卯）を天干・地支ともに真正面から打ちます（月の支の卯と酉が沖、月干と天干が沖）。格局そのものが組み替わる転換期。職業の転換、退職、住まいの移転、家族構成の変化——環境が根こそぎ整理されます。ただしあなたにとって酉は金の本場、すなわち身を助ける側です。崩れて終わる転換ではなく、荷を下ろして身軽になる転換と読みます。ここで無理に古い体制にしがみつくと苦しくなります。手放す決断が吉。

67～76歳・甲申: 天干の陽の木は「炉の薪」、地支の申は自分の根。穏やかに安定する晩年の入り口です。この時期に若い人へ何かを教える、伝える役割が自然と回ってきます。攀鞍の星が本領を発揮する頃合いです。

77～86歳・癸未: 天干の水は忌む気ですが、地支の未は時の柱と同じ、吉星の座る土。内には静けさ、外には人の助け。健康面では水気の停滞（腎・泌尿・むくみ）に配慮を。総じて穏やかです。

87～96歳・壬午: 天干の水と地支の火が真っ向から対します。高齢期ゆえ、体調を丁寧に見守りたい時期。ただし午は本来あなたを助ける火であり、根は残ります。心を静かに保ち、庭木や草花を育てるような暮らしが、この時期の何よりの養生になります。

4. 人生の変わり目（年運のポイント）

2026年（丙午）41歳——今年: 天干の陽の火が月干と合し、地支の午が命式の午と重なります（自刑）。同じ気が二つ重なるのは、体の張りつめ・気持ちの空回りの形。加えて月の支と「こすれ合う関係(破)」。仕事量が増え、評価もされますが、代償は体です。季節で分けると、春から初夏（3～6月）は勢いがあり動きやすい。真夏（7～8月）が最も消耗が激しく、要注意。秋以降は落ち着きます。家の新築・大きな改修は今年は見送りを。引っ越しの必要があれば秋以降に。「引き受ける量を一つ減らす」——それが今年の処方箋です。心を清らかに保ち、慎めば厄は及びません。

2027年（丁未）42歳: 天干にあなたを助ける第一の炎が出て、地支の未は吉星の座。地支は卯と結んで木の側に傾きますが、この年は前年の消耗から立て直す回復の年。専門性を形にする（資格・認定・肩書き）のに適します。この年は住まいの手入れも吉、土地や家の話を進めてよい年です。前半より後半（夏以降）に実りが集まります。

2028年（戊申）43歳: 天干の陽の土は助け、地支の申は自分の根。古典が「金土は福」と言うその条件がそろう年。身が立て直り、判断が明晰になります。この10年でもっとも足場が固まる一年。転職や独立を考えるなら、この年の判断は信頼できます。ただし現在の10年の流れは消耗の側にありますから、大勝負より「確実な一手」を。

2029年（己酉）44歳:引き続き土と金。穏やかな安定年です。派手な出来事はなくとも、これは平運であって不足ではありません。「大きな慶事」を期待するより、内実を固める年と受け取ってください。人間関係では申・酉の年に当たり、命式と冲する気配がありますので、酉年生まれ・申年生まれの方との金銭のやり取りは慎重に。

2030年（庚戌）45歳: 天干は自分と同じ金、地支の戌は命式の寅・午と結んで火の組が完成します。あなたを助ける炎が全面に出る年。この10年で最も運が開く一年と申し上げてよい。仕事の面で表舞台に立つ機会、あるいは長年の努力が形になる出来事が起きやすい。新築・移転も吉。ただし火が満ちるので、呼吸器と睡眠だけは守ってください。

2031年（辛亥）46歳: 地支の亥が卯・未と結び木の組を完成させ、財の側が一気に膨らみます。仕事も収入も増えるが、身弱のあなたには荷が重い年。手を広げすぎると翌年に響きます。共同事業・保証・大きな借り入れは避けること。「守ることが稼ぐこと」と心得てください。前半は勢いがありますが、冬（11～12月）は消耗が出ます。

2032年（壬子）47歳: 天干・地支ともに水。古典が「大いに忌む」と明記したその気が満ちる年です。判断が濁り、実りが漏れやすい。文書・契約・保証には特に慎重に。新築や大規模な改修は見送りを。ただしこの年から新しい10年（丙戌）に入りますから、年の後半、特に冬至以降は流れが変わり始めます。慎んで越せば、翌年から違う景色が見えます。

2034年（甲寅）49歳: 天干に「炉の薪」となる陽の木が現れ、地支の寅は命式の午と結んで火に変わります。あなたを助ける気が薪と炎の両方でそろそろ、非常に良い年。学び直し、著述、発表、資格の上位取得——才を表に出す行動が実る年です。移転・新築も吉。

2037年（丁巳）52歳: 天干の炉の火に加え、地支の巳が午・未と揃って火の方局が完成します。人生でも屈指の高揚期。社会的な評価・立場が一段上がります。ただし火が極まりますから、この年こそ健康管理を最優先に。特に呼吸器・皮膚・心臓の負担に配慮を。慎めば、この年の成果は生涯残ります。

2042年（壬戌・乙酉大運の入り）57歳: 生まれ月の柱を真正面から打つ大転換の入り口。退職・転身・移転が現実の課題として現れます。古いものを手放す年。抗わず、整理する側に回ってください。

5. 配偶者・ご縁の座と、家庭

（婚姻の有無は無回答のため、中立の視点で申し上げます）

ご縁の座（日の支）の状態: 日の支・午は、時の支・未と引かれ合うご縁（支合）を結び、年の支・寅とは火の組を作ります。家庭の座は基本的に温かく、結ばれる力が強い配置です。しかも時の支には最上の吉星（天乙貴人）。配偶者またはこれからのご縁は、あなたを実際に助けてくれる方と読みます。

ただし——日の支は月の支と「こすれ合う関係(破)」にあり、2026年のように午が重なる年には自刑が起きます。大筋では和やかだが、時期によって家庭内に張りつめた空気が生じる、という両面での見立てが正直なところです。円満と断じること、風波と断じることもしません。

責任の気（官星＝ご主人・パートナーを表す気）: 年干の陽の火が重圧の気(七殺)として現れていますが、これは月干に合されて止められています。つまり強い相手・年上の相手との縁が一度は近づくが、途中で形を変える構造。この命式は正財格ですから、格の側から言えば重圧の気は忌の側です。主導権を握ろうとする相手より、あなたの実務を静かに認めてくれる相手のほうが、この命式には合います。

相性のよい干支（生まれ年）:- 第一に、末年（ひつじ年）生まれの方。日の支・午と引かれ合うご縁を結び、しかもあなたの吉星と同じ土。命式全体を安定させる、最も理にかなったお相手です。-

次に、寅年（とら年）・巳年（み年）・午年（うま年）生まれの方。

いずれもあなたを助ける火の気を補い、季節のバランスを整えます。 - 控えたい組み合わせ: 丑年・子年・申年・酉年生まれ。命式と真正面からぶつかる気配があり、特に子年は古典が忌む水のの気にあたります。 - もしお相手の干支が思うようにいかない場合は、夏生まれ（火の季節に生まれた方）でも十分に補われます。干支だけにこだわらず、季節でご覧になってください。

6. 天職と総評

判定: この命式は—— 学問・教育・専門技術の道を第一とします。

理由を順に申し上げます。第一に、時の座に最上の吉星と安定の星が揃い、引き立てを受けて着実に地位を得る型であること。第二に、季節のバランスが部分的にしか合っておらず、才が地中に隠れているため、若くして表舞台に立つより、専門性を積んで中年以降に発揮する型であること。第三に、重圧の気（公職・上位権力を示す気）が合されて止められているため、組織の階段を駆け上がる形ではないこと。ここは正直に申し上げます——大きな組織の権力構造の中で頂点を目指す道は、この命式には向きません。それはあなたの努力不足の話ではなく、単に構造が別の方向を向いているというだけです。

代わりに、この命式が最も力を出すのは——一つの専門技術・知識体系を深く身につけ、それを人に教え、伝える立場です。古典の見立てに「陽の金が水を生じ、その水が木を生じる」流れは初等・中等の教育に、そこに火まで通う流れは高等教育の指導者に相当する、という一節があります。あなたの命式は水も木も火も揃っており、教える・育てる・技術を伝えるという通路が命式に通っています。

具体的には、技術系・資格系の専門職（医療技術、検査、精密分野、財務・会計、法務事務、品質管理など「正確さで信用を積む仕事」）、そしてその専門を土台にした教育・指導職。正財格の食傷生財は「信用と信頼を守ろうとする行為」であり、しかもあなたは鋭い表現の気が優勢ですから、定価販売ではなく、相手に合わせて説明し、アフターケアで信頼を勝ち取るタイプです。営業でも技術営業・専門コンサルティングの側が合います。

第二の道として: 47～56歳の火の10年に、独立して自分の名前で専門を看板にする選択肢が開きます。ただし身弱ゆえ、規模を追わないこと。人を多く抱えるより、少数精鋭で質を守る形が、この命式の器に合っています。共同経営・大きな借入れは、財の格にとって最も危うい形です。

最後に。あなたの命式は、華やかな貴格ではありません。天干に炎が出ず、才が地中に隠れた「中格」です。若い頃、周囲より遅れているように感じた時間があつたとすれば、それは命式の構造であって、あなたの価値の話ではありません。格局の巡り合わせは、あなたの落ち度ではないのです。

しかし古典ははっきりと言います——この構造は「金と土の運に至って栄達する」と。そして47歳からの10年、67歳からの10年が、まさにその金と土の運です。あなたの本番は、まだ来ていません。それまでの間、体を守り、専門を一つ深く磨き、助けてくれる人の手を素直に取ること。その三つを守れば、隠れていた炉の火は必ず表に出ます。

※ 本鑑定は伝統的な命理解釈に基づく参考資料であり、医療・法律・投資などの専門的判断に代わるものではありません。

※ 実際の鑑定書には、同じ生年月日に生まれた実在の人物のリストが含まれます。

ご自分の完全鑑定書を申し込む → <https://jp.lunasajubang.com/>